

# デジタルスキャナ DS4308

## かんたんスタートガイド



アヴネット株式会社

#### はじめに

このたびはデジタルスキャナ DS4308 シリーズ(以下、本製品)をお選びいただき誠 にありがとうございます。

本ガイドは、初めてのお客様でも本製品を簡単に使い始めていただけるように、基本 的な使いかたに絞って説明しています。

各パラメータの詳細など本製品の詳細な説明につきましては『DS4308 プロダクトリ ファレンスガイド』など、付属のドキュメントをご参照ください。

なお、機種やバージョンにより、実際の製品と本ガイドの記載内容が異なることがあ ります。

#### 製品保証

本製品の本体無償保証期間は5年間(60カ月)です。 ※ケーブルなどのアクセサリは製品保証に含まれません。

#### お願い

本ガイド内には、本製品を設定するためのバーコードが記載されています。 バーコードが隣接して読み取りにくい場合は「ピックリストモード」(P.13)に設 定して読み取ってください。

## 目次

システムの構成	3
■ PC との接続方法	3
■ケーブルの接続と外しかた	3
設定の手順	4
■バーコードの読み取りかた	4
PC との接続と設定	5
■ USB ケーブルで接続する	5
■シリアル(RS-232C)ケーブルで接続す	る6
■キーボード(PS/2)として接続する	9
自動的に付加コードを入力する	- 10
接続を確認する	- 11
読み取りかたの設定	- 12
■自動照準	- 12
■レベル	- 12
■プレゼンテーション	- 12
■連続読み取り	- 13
■ユニークバーコード読み取り	- 13
■ピックリストモード	- 13
音・バイブレータ・照明の設定	- 14
■ビープ音の大きさ	- 14
■ビープ音の音程	- 14
■起動音の設定	- 15
■バイブレータの設定	- 16
■ナイトモードの設定	- 16
■読み取り照明の設定	- 17
■照準ドットを消去	- 17
インターフェースごとの設定	- 18
■ USB Caps Lock 設定	- 18
■ USB 高速 HID 設定	- 18
■ USB キーストロークディレイ	- 19

バーコードに関する設定	20
■バーコード反転読み取り設定	20
■ QR 反転読み取り設定	20
■全バーコードの読み取り	21
■ JAN/EAN の読み取り	21
■ UPC-A/UPC-E の読み取り	22
■ Code39 の読み取り 2	23
■ Code128 の読み取り	24
■ NW-7(Codabar)の読み取り	24
■ GS-1(GTIN)の読み取り	24
■ GS-1 コンポジットの読み取り	25
■ 2D バーコードの読み取り	26
その他の設定 2	27
■パスポート OCR 読み取りの設定	27
■書籍多段バーコード読み取りの設定 2	28
付録 1 主な初期値バーコード対応表 2	29
付録 2 サンプルバーコード	29
付録 3 Q&A	32
お問い合わせ先	33

## システムの構成

#### ■ PC との接続方法

本製品は PC と接続して使用します。 PC との接続には次の 3 つの方法があります。



各接続方法については、次のページを参照してください。

USB 接続	P. 5
シリアル(RS-232C)接続	P. 6
キーボード(PS/2)接続	P. 9

#### ■ケーブルの接続と外しかた

#### ●接続のしかた

ケーブルインターフェースに接続ケー ブルのコネクタを「カチッ」と音がす るまで挿入します。



#### ●外しかた

先の細いドライバーなどでコネクタの ツメを押し下げながら引き抜きます。



#### 設定の手順

最初に PC と本製品を接続して動作を確認します。 各設定はお使いになる用途、環境に合わせて選択します。



#### ■バーコードの読み取りかた

各機能は本ガイドに記載されているバーコード(P.12以降)を読み取って設定します。 PC との接続が完了したら、次の操作でバーコードを読み取って設定します。



スキャンウィンドウから照射される赤い照準ドッ トをバーコードの中央に合わせて、トリガを引き ます。

## PC との接続と設定

本製品と PC を接続して、バーコードを読み取れるように設定します。 接続方法は3種類あります。お使いになる接続方式の手順に従ってください。

#### ■ USB ケーブルで接続する

本製品と PC の USB ポートを付属のケーブルで接続します。

- USB ケーブルで本製品と PC の USB ポー トを接続します。
- (INT) 本製品へのコネクタの接続方法は 「ケーブルの接続と外しかた」(P.3)を 参照してください。
- 2 本製品で次のバーコードを順番に読み 取って USB 接続設定をします。
  - 2 -1 USB-HID に設定



USBキーボードHID

2 -2 キーボードタイプを日本語に設定





日本語(ASCII)

○ 接続と設定が完了したら「自動的に付加コードを入力する」(P.10)の手順に進ん でください。

-(HiNT)

USB 接続で漢字やカナ文字などの2バイトキャラクタを読み取ると正しく表示されません。

アプリケーションで USB-COM インターフェースを設定し、RS-232C キーボード変換 ソフトなどを使用してください。

#### ■シリアル(RS-232C)ケーブルで接続する

本製品と PC のポートをシリアル (RS-232C) ケーブルで接続します。

- シリアル(RS-232C)ケーブルで本製品とPC のシリアルポートを接続します。
   ACアダプタをコンセントに差し、RS-232Cコ ネクタ背面のDCジャックに接続します。
- (INT) 本製品へのコネクタの接続方法は「ケーブ ルの接続と外しかた」(P.3)を参照してく ださい。
- 2 本製品で次のバーコードを順番に読み取って シリアル(RS-232C)接続設定をします。 通信環境に合ったバーコードを読み取ってく ださい。



- (INT) バーコードの読み取りかたは「バーコードの読み取りかた」(P.4)を参照して ください。
  - 2 -1 RS-232C に設定



\*標準RS-232C







2ストップビット



ACK/NAK (ON)

→ 接続と設定が完了したら「自動的に付加コードを入力する」(P.10)の手順に進ん でください。 ■キーボード(PS/2)として接続する

本製品をキーボードと PC の間に接続し、バーコードデータをキーストロークに変換して入力します。PC は、キーボードから入力されたかのようにデータを受け付けます。

- Yケーブルなどを使って、本製品 を PC のキーボードコネクタに接続 します。
- CIND ・本製品へのコネクタの接続方法 は「ケーブルの接続と外しか た」(P.3)を参照してください。
  - ・キーボードコネクタへの接続方 法の詳細は『DS4308 プロダク トリファレンスガイド』を参照 してください。



2 用途に合わせてキーボードを設定します。



IBM PC/ATおよびIBM PC互換機

○ 接続と設定が完了したら「自動的に付加コードを入力する」(P.10)の手順に進ん でください。

(HiNT)-

一部の PC では AC アダプタによる外部電源入力が必要な場合があります。

その場合は、上図のように AC アダプタを、Y 字ケーブルの Y 部分のコネクタに接続 してください。

## 自動的に付加コードを入力する

読み取ったバーコードデータを PC に送る際に、改行コードなどをデータの前後に自動 的に付加することができます。初期設定は「付加コードなし(データのみ)」です。



● CRLF(ENTER)コードを付加する



<DATA><SUFFIX 1>

● CR コードを付加する



● TAB コードを付加する



●データの前に STX コード、データの後に ETX コードを付加する



#### 接続を確認する

PC との接続と設定が完了したら、正しく読み取れるかどうかテストをします。

本製品とPCの接続を確認し、PCでテキストエディターを起動します。 1 Windows では「アクセサリ」の中にある「メモ帳」などを起動します。

2 次のバーコードを読み取ります。



- 3 テキストエディターに読み取った内容が入力されます。

🎒 無題 - メモ帳	
ファイル(F) 編集(E) 1234567890	書式(0)



#### 読み取りかたの設定

トリガを引いた時の動作(トリガモード)を設定します。

(INT)「自動照準」「レベル」「プレゼンテーション」は、いずれか一つを設定します。 初期設定は「自動照準」になっています。

#### ■自動照準

トリガを引かなくても照準ドットが常に点灯して、目的のバーコードに焦点を合わせる ことができます(初期設定)。



\*自動照準

#### ■レベル

トリガを引かない状態では照準ドットは照射されません。トリガを引くと照準ドットが 照射され、そのままバーコードが読み取れます。



#### ■プレゼンテーション

トリガを引かなくても連続してバーコードを読み取ります。



#### ■連続読み取り

トリガを引き続けている間、連続してバーコードを読み取ります(初期設定は「無効」)。



\*連続バーコード読み取りを無効にする



連続バーコード読み取りを有効にする

#### ■ユニークバーコード読み取り

トリガを引いている間、連続してバーコードを読み取りますが、同じバーコードは読み 取りません(初期設定は「有効」)。

HINT「連続読み取り」が有効になっている時のみ有効です。





#### ■ピックリストモード

読み取りエリアに複数のバーコードがある場合、照準ドットが当たっているバーコード を読み取ります(初期設定は「無効」)。

HINT ハンズフリーモードでは適用されません。



\*常に無効



ハンドヘルドモードで有効

## 音・バイブレータ・照明の設定

操作を通知する音、バイブレータ、読み取り照明を設定します。

## ■ビープ音の大きさ

ビープ音量を設定します(初期設定は「大」)。







小

■ビープ音の音程

ビープ音の高低、またはビープ音オフを設定します(初期設定は「中音」)。



中音から高音(2音)



\*中音



#### ■起動音の設定

電源投入時の起動音(ピ、ピ、ピ)のオン/オフを設定します(初期設定は「抑制しない」)。



\*電源投入時ビープ音を抑制しない



電源投入時ビープ音を抑制

#### ■バイブレータの設定

読み取りが成功するとスキャナ本体が振動して読み取り成功を通知します(初期設定は 「無効」)。

LINT バイブレータは DS4308HC(ヘルスケアモデル)が対応しています。





バイブレータを有効にする

■ナイトモードの設定(DS4308HC(ヘルスケアモデル)が対応しています) ビープ音をオフにして、バイブレータを有効にします(初期設定は「ナイトモードオフ」)。 設定バーコードを読み取るごとに、オンとオフが切り替わります。



ナイトモードの切り替え

(HiNT)

トリガによるナイトモードの設定

上記の設定バーコード以外でもナイトモードに設定できます。

バーコードがない箇所でトリガを引いたままにします。照準ドットが消えて約5秒 が経過すると、ナイトモードに設定されます。

バイブレーションまたはビープ音が2回発生して切り替え成功を知らせます。

#### ■読み取り照明の設定

照準ドットの周りに赤い照明を照射します(初期設定は「有効」)。



\*読み取り照明を有効にする



#### ■照準ドットを消去

●レベルモードにする方法

レベルモードにするとトリガを引いた時だけ照準ドットが照射されます。



レベル(標準)

#### ●照準ドットの有効/無効

常に照準ドット照射を有効または無効にします(初期設定は「有効」)。



\*ハンドヘルド読み取り照準パターンを有効化



ハンドヘルド読み取り照準パターンを無効化

## インターフェースごとの設定

■ USB Caps Lock 設定(※ USB インターフェースのみ適用)

Caps Lock キーの状態に関係なく、すべて大文字またはすべて小文字にして転送します (初期設定は「無効」)。



\*Caps Lockのシミュレートを無効にする



Caps Lockのシミュレートを有効にする

■ USB 高速 HID 設定(※ USB インターフェースのみ適用) USB HID データを高速で転送します(初期設定は「有効」)。



\*有効



無効

■ USB キーストロークディレイ (※ USB インターフェースのみ適用)

キーストローク間の遅延時間を設定します(初期設定は「ディレイなし」)。 より遅いデータ転送が必要な場合に設定します。



\*ディレイなし



中程度のディレイ(20ミリ秒)

-(HiNT)

USB 接続で、読み取ったバーコードデータを PC などへ転送する際に桁落ちが発生 する場合は、まず「USB 高速 HID 設定」の無効をお試しください。 改善されない場合は、「USB キーストロークディレイ」の「中程度のディレイ」を 設定してください。

## バーコードに関する設定

バーコードの読み取り状態や対応するバーコード種類を設定します。

#### ■バーコード反転読み取り設定

「標準バーコードのみ」「反転バーコードのみ」「自動検出して標準/反転の両方」の設 定ができます(初期設定は「標準」)。



\*標準



反転のみ



反転自動検出

#### ■QR 反転読み取り設定

「標準」「反転のみ」「反転自動検出」の設定ができます(初期設定は「標準」)。



\*標準



反転のみ



(HiNT)

反転自動検出を設定すると、読み取り速度が遅くなることがあります。

#### ■全バーコードの読み取り

すべてのコードタイプを読み取れるように設定します。





-(HiNT)

特定のコードタイプだけを読み取り可能にする場合は「無効」を設定した後、読み 取り対象のコードタイプの設定バーコードを読み取ります。

■ JAN/EAN の読み取り(初期設定は「有効」)

EAN-13/JAN-13



\*EAN-13/JAN-13を有効にする







\*EAN-8/JAN-8を有効にする



EAN-8/JAN-8を無効にする

■ UPC-A/UPC-E の読み取り

● UPC-A の有効化/無効化(初期設定は「有効」)



\*UPC-Aを有効にする



```
UPC-Aを無効にする
```





UPC-Eを無効にする





システムキャラクタおよびカントリーコード

Code39の読み取り

● Code39 の有効化/無効化(初期設定は「有効」)



\*Code 39 を有効にする



Code 39 を無効にする

● Code39 のスタート/ストップキャラクタを転送する



バーコードに関する設定



転送禁止

■GS-1 (GTIN)の読み取り

● GS1 DataBar-14 の有効化/無効化(初期設定は「有効」)



\*GS1 DataBar-14を有効にする



GS1 DataBar-14を無効にする





CC-Cを有効にする

■2D バーコードの読み取り

● QR コードの有効化/無効化(初期設定は「有効」)





● DataMatrix の有効化/無効化(初期設定は「有効」)



Data Matrix を無効にする

● PDF417 の有効化/無効化(初期設定は「有効」)



 PDF417を無効にする



\*OCR-B Full ASCII

(HINT)

OCR はバーコードに比べて誤読の可能性が高くなります。

また、OCR 設定を有効にすると読み取り速度が遅くなることがあります。

OCR 読み取りには、DS4308HD(高分解能)モデルをお薦めします。

OCR 読み取り精度の向上に関しては『DS4308 プロダクトリファレンスガイド』を 参照してください。

パスポート OCR のサンプルは P.31 を参照してください。

#### ■書籍多段バーコード読み取りの設定

書籍の2段 JAN コードを一括して読み取ることができます。 次のバーコードを順番に読み取って設定します。



Enable 2-Stage Decoding



<ROW 1 DATA>



書籍多段バーコード読み取りを禁止する場合は、次のバーコードを読み取ります。



**Disable 2-Stage Decoding** 

## 付録1 主な初期値バーコード対応表

コード名	内容
JAN/EAN	0
UPC-A/UPC-E	0
Code128	0
Code39	0
Code39 スタート/ストップ	転送しない
ITF	0
ITF 桁数	6~55 桁
Data Matrix	$\bigcirc$
NW-7	0
NW-7 桁数	4~55 桁
NW-7 スタート/ストップ	大文字で転送
GS-1 (GTIN)	0
GS-1 コンポジット	初期値では NG
QRコード	0
Micro QR	Ó

#### \_\_\_\_\_\_ 付録 2 サンプルバーコード

Code39



123ABC











12345678901231

PDF417



Data Matrix



● GS1 DataBar-14 (注: DataBar-14 を有効にしてください。)



7612341562341

 $\bigcirc$  QR  $\sqsupset - F$ 





●多量文字(100 文字)







## 付録 3 Q&A

USB ケーブルで接続したい	P. 5
シリアル(RS-232C)ケーブルで接続したい	P. 6
PS/2 キーボード接続と一緒に接続したい	P. 9
読み取ったデータに ENTER または TAB コードを付けて転送したい	P. 10
すべての設定を初期状態(デフォルト設定)にしたい	P. 11
トリガを引いた時だけポインタを照射したい	P. 12
トリガを引かずに連続してバーコードを読み取りたい	P. 12
トリガを引いている間、連続してバーコードを読み取りたい	P. 13
連続読み取り時に同じバーコードを読み取らないようにしたい	P. 13
密集したバーコードの中で目的のバーコードだけを読み取りたい	P. 13
起動時や読み取り時の音を調整したい	P. 14
バイブレータ機能を有効にしたい(HC モデルのみ)	P. 16
読み取り音を消してバイブレータを作動させたい(HC モデルのみ)	P. 16
読み取り照明を消したい	P. 17
照準ドットを消したい	P. 17
大文字または小文字のみでデータを送信したい	P. 18
読み取ったデータが正しく PC に転送されない(桁落ちする)	P. 18-19
白黒の反転したバーコードを読み取りたい	P. 20
白黒の反転した QR コードを読み取りたい	P. 20
0で始まる JAN コードを 13 桁(8 桁)で転送したい	P. 23
Code39の*(アスタリスク)を転送したい	P. 23
Code128の読み取りを禁止したい	P. 24
NW-7(Codabar)のアルファベットを転送したくない	P. 24
GS1(GTIN)の読み取りを禁止したい	P. 24
GS-1 コンポジットを読み取りたい	P. 25
パスポート No. を読み取りたい	P. 27
書籍2段バーコードを一括で読み取りたい	P. 28
デフォルト設定で読み取れるバーコードの種類を知りたい	P. 29

アヴネット株式会社

東京本社

〒 150-6023 東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 23 階
 営業統括本部 第 2 営業本部 第 3 営業部 2 課
 Tel (03) 5792-9860

西日本支社

〒 541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 2 丁目 3-13 大阪ビルディング 15 階 営業統括本部 第 2 営業本部 第 3 営業部 3 課 Tel (06) 4705-1200

2015年6月 第1版

## アヴネット株式会社